

⑬ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭59—76378

⑤ Int. Cl.³
B 43 K 3/00

識別記号

庁内整理番号
6951—2C

⑬ 公開 昭和59年(1984)5月23日

審査請求 未請求

(全 頁)

④ 握り部の軸径が変わる筆記具

東京都品川区小山台1丁目30番
地15号

① 実 願 昭57—172573

⑦ 出 願 人 大塚工機株式会社

② 出 願 昭57(1982)11月15日

横浜市港北区榑町1551番地

③ 考 案 者 石神博行

BEST AVAILABLE COPY


明 細 書



1. 考案の名称 握り部の軸径が変わる筆記具
2. 実用新案登録請求の範囲

- (1) 筆記具の握り部に相当する位置に両端が開口の筒状ゴム体を装着し、前記筒状弾性体の両端を前記筆記具の軸部に螺合した調整つまみで圧縮することにより軸径を変えられるようにしたことを特徴とする筆記具。

3. 考案の詳細な説明



この考案は、握り部の軸径を自由に各人に合った太さに変えることができる筆記具に関する。

筆記具を使って筆記するという行為は、学童から大人又は、男性と女性というように、多種多様な範囲で行なわれるものであり、その筆記具も各人に適したものを使用すれば字がきれいに書くことができ、疲労も軽減できると思われる。実際に現在ある筆記具でも軸径の太い男性用、軸径の細い女性用というように区別されているものもある。しかしながらこのような筆記具もある一定の軸径に決められており、多種多様な各人の微妙な違いをフォローすることができず、使用者も決められ

(1)

た軸径の筆記具を甘んじて使っているという問題点があった。

この考案は、このような従来の問題点に着目してなされたもので、筆記具の握り部の軸径を各人に適した太さに自由に変えることにより上記問題点を解決することを目的としている。

以下、この考案を図面に基づいて説明する。

第1図は、この考案の一実施例を示す図である。

まず構成を説明すると、(1)はボールペンであり、(2)は両端が開口の中空軸であって、両端に螺部(21)(22)が形成されており、芯出し金具(3)とエンドキャップ(7)とがそれぞれ螺合されている。中空軸(2)の内には、内部にインキの入った芯(8)があり、芯(8)の一端にあるインキ出口(81)が芯出し金具(3)の内を通り突出している。芯(8)の他端はエンドキャップ(7)に突き当たっている。中空軸(2)の外周の握り部に相当する位置には、円筒平滑部(23)と螺部(24)が形成されており、円筒平滑部(23)には両端が開口の円筒弾性体(4)が一端を芯出し金具(3)の端面に当たるように装着されている。螺部(24)には外周にローレ

ット切りした調節つまみ(6)が螺合されていて、調節つまみ(6)と円筒弾性体(4)の間にはまわり止め(5)が円筒平滑部(2)に嵌合されている。調節つまみ(6)とまわり止め(5)は、円筒弾性体(4)より摩擦係数の小さな材質でできている。

次に作用を説明する。

軸径を太くする時は、調節つまみ(6)を調節つまみ(6)と芯出し金具(8)の間隔を狭める方向へ締めつけていけば円筒弾性体(4)は一端を芯出し金具(8)により突当てられているので圧縮し、円筒弾性体(4)の外径が膨張し握り部の軸径が太くなり調節つまみ(6)の締めつけ程度で円筒弾性体(4)の膨張を調節することができる。その際調節つまみ(6)と同筒弾性体(4)の中間に設けられたまわり止め(5)により、調節つまみ(6)とまわり止め(5)の接触面の摩擦抵抗がまわり止め(5)と同筒弾性体(4)の接触面の摩擦抵抗より小さいため、調節つまみ(6)を締めつける回転運動を円筒弾性体(4)に伝達することなく、円筒弾性体(4)を圧縮する方向の推力のみが円筒弾性体(4)に伝達され、円筒弾性体(4)がねじれることなく

圧縮される。

軸径を元の径に戻すには、調節つまみ(6)を調節つまみ(6)と芯出し金具(8)の間隔を拡げる方向へ移動させれば、円筒弾性体(4)は弾性により元の径に戻る。

以上説明してきたように、この考案によれば、その構成を握り部に装着した両端が開口の円筒ゴム体を圧縮し、握り部の軸径を変えることとしたため、各人微妙に違う筆記具の適正軸径を得られるという効果がある。又、以上はボールペンを例にして説明してきたが、その他各種の筆記具にもこの考案を採用できるものである。



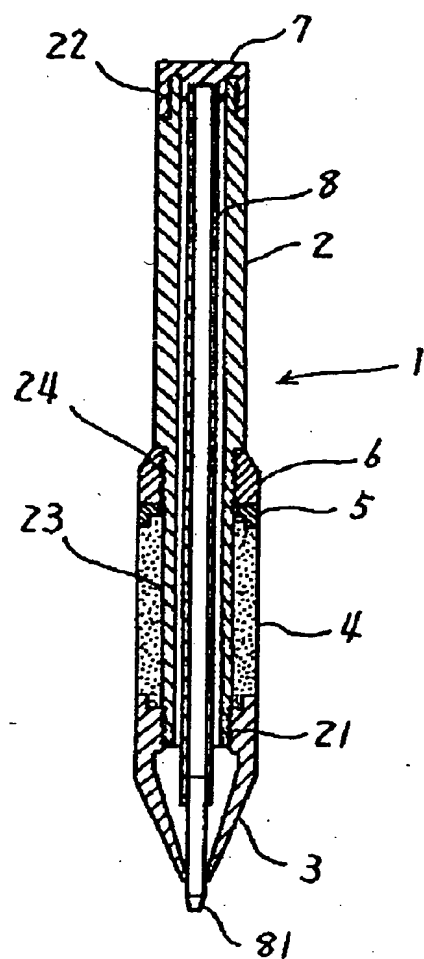
4. 図面の簡単な説明

第1図は、本考案の一実施例を示す縦断面図である。

- | | |
|---------------|-----------------|
| (1).....ボールペン | (6).....調節つまみ |
| (2).....中空軸 | (7).....エンドキャップ |
| (8).....芯出し金具 | (8).....芯 |
| (4).....円筒ゴム体 | |
| (5).....まわり止め | |

(4)

第 1 図



實用新案登録出願人 大塚工機株式会社
代表者 大塚欽一郎

733 実開 59-76378

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

☐ BLACK BORDERS

☒ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES

☐ FADED TEXT OR DRAWING

☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING

☐ SKEWED/SLANTED IMAGES

☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS

☐ GRAY SCALE DOCUMENTS

☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT

☒ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.